



2021年度 町田第一地区 市政懇談会

次 第

[日時] 2021年10月12日 (火) 18:30~20:00

[場所] 文学館大会議室

司会進行： 市民協働推進担当部長 大貫 一夫
町田第一地区町内会・自治会連合会副会長 飯田 高信

○ 連合会長の挨拶

町田第一地区町内会・自治会連合会 会長 平本 勝哉

○ 市長の挨拶

町田市長 石坂 丈一

○ 職員の紹介

○ 市政懇談会について

第1部 地域の議題に関する意見交換

1 中心市街地のまちづくりについて

【都市づくり部】 【道路部】

2 原町田地区の道路整備について

【道路部】

3 原町田大通りの延伸計画について

【道路部】

第2部 市政全般に関する意見交換

市長からの市政報告

○ 閉会の挨拶

閉会挨拶 町田第一地区町内会・自治会連合会 宮島 榮一

2021年度 町田第一地区 市政懇談会
議事録(要旨)

[日 時] 2021年10月12日(火) 18:30～20:00

[場 所] 町田市民文学館 大会議室

[出席者] 町田市長 石坂 丈一

道路部長 神蔵 重徳

都市づくり部長 萩野 功一

政策経営部広報担当部長 遠藤 雅子

市民部市民協働推進担当部長 大貫 一夫

町田第一地区町内会・自治会連合会長 ほか26名

事務局 市民部市民協働推進課 5名

司会進行：市民協働推進担当部長

町田第一地区町内会・自治会連合会副会長

○町田第一地区町内会・自治会連合会長の挨拶

○市長の挨拶

○職員の紹介

○市政懇談会について

第1部 地域の議題に関する意見交換

1 中心市街地のまちづくりについて

最近町田市民に長年親しまれてきたラポール千寿閣が閉館し、駅周辺の賑わいがなくなってしまうのではないかと心配です。そこで、今年の市政懇談会でも質問しましたが、町田市駅周辺のまちづくりに関して、以下について伺います。

(1) JR町田駅南口のまちづくりの現状と今後の予定

(2) 小田急町田駅周辺地区のまちづくりの現状と今後の予定

(3) 中央通りと文学館通りの無電柱化及び文学館通りの歩道整備の現状と今後の予定

【回答】

都市づくり部長

(1) 及び(2)について合わせてお答えいたします。

町田駅周辺のまちづくりにつきましては、2022年3月に策定を予定している「町田市都市づくりのマスタープラン」において、「商業地を多機能化、ウ

オーカブルなまちにする」プロジェクトに位置付け、駅周辺のにぎわいを創出するさまざまな取組を進めてまいります。

J R町田駅南口のまちづくりにつきましては、市営駐車場のリニューアルを契機に市街地再開発事業の検討を進めてまいりましたが、事業検討区域の約1/3の面積を所有する地権者から参加意向を得られない状況となりました。そのため、残された区域では、駅前広場や歩道拡幅等の用地が確保できないことから市街地再開発事業を見送ることといたしました。

今後は、市営駐車場のリニューアルのための建替えを進めるとともに、駅周辺の賑わいを創出するため、南の玄関口として必要な機能の導入について、併行して検討を進めてまいります。

小田急町田駅周辺地区のまちづくりに関しましては、西友のある地区において、7月に再開発に向けた準備組合が設立されました。また、J Rを挟んで隣接する森野住宅周辺地区では、地権者を対象とした、市主催のまちづくり勉強会を8月に開催しました。今月も勉強会を開催し、検討を進めてまいります。

町田駅周辺のその他の地区におきましても、民間事業者と再開発等に向けて、調整を進めているところです。

今後も、各地区のまちづくりの具体化に向けて、地区内の関係者の皆様と話し合いを進めてまいります。

道路部長

議題1の中心市街地のまちづくりについて(3)中央通りと文学館通りの無電柱化及び文学館通りの歩道整備の現状と今後の予定についてお答えします。
(原町田中央通りについて)

原町田中央通りにつきましては、2018年度から本格的な埋設物調査を実施し、2019年度は、無電柱化について地域の皆様とワークショップにて検討を進めてきました。そして、昨年度(2020年度)には、最も大きな課題であった電線共同溝の地上機器の設置位置が決定し、地下埋設物が複雑な場所の試験掘りに着手しました。

今年度(2021年度)は、電線共同溝工事に支障となる占用企業者管路の支障移設工事が、8月から始まっており11月に完了予定です。その工事が完了次第、昨年度に引き続き試験掘りを実施いたします。

来年度(2022年度)は、試験掘りの結果を受けて、電線共同溝及び道路の詳細設計を実施する予定です。

電線共同溝の本体工事としましては、2023年度から着手し、道路復旧工事を含めて2027年度の完成を目指しております。

(文学館通りについて)

文学館通りの歩道拡幅や無電柱化につきましては、無電柱化と合わせて歩道幅員を広げる計画です。

町田街道からサウスフロントタワー北側道路まで（区間1）は、歩道を片側1.5mから2.75mへと広げ、車道を6.5mから4.0mへと狭め、交互通行から町田街道から駅に向かっての一方通行とし、その先、原町田中央通りまで（区間2）は、歩道を片側1.5mから2.0mに広げ、車道を6.5mから5.5mへと交互通行のまま狭める計画です。

市では、2010年度から検討を始め、2012年度からは、沿道住民の皆様をはじめ町内会や商店街、街づくりの会など、多くの方にご理解いただけるように説明を重ねてきております。

今年度（2021年度）は、6月8日に原町田四丁目第二地区街づくりの会と文学館通り商店会と意見交換を行っており、整備の方針については賛同を得られていると認識しております。

まだ一方通行化の同意をいただけていない方とは、8月26日にお会いし、ご理解を求めているところです。

沿道全ての地権者から一方通行化の同意を頂いた段階で、事業に着手したいと考えておりますので、一日も早く、ご理解力を頂けるよう引き続き丁寧に説明を行ってまいります。

《質疑》

原町田六丁目六生会

大型店の会員さんから中央にある屋根が老朽化していて、昨今ゲリラ豪雨とかある中で、屋根があるにもかかわらず傘をささない歩けない状態ということで大型店に苦情が入り、その対応で困っていると伺いました。実態を知っていただくとともに対応をお願いしたいと思っております。

道路部長

ペDESTリアンデッキ、1号デッキ、モディから丸井に行く道に屋根がかかっているところがございます。町田の玄関口でありながら、この状況はいかかなものかということで毎年ご意見をいただきます。どのようにあの空間を活用していくか、検討を進めていきたいと思っております。ビル風が吹き込むのは仕方ないのですが、屋根からの雨漏りは許されることではないと思っております。今年度もこれから点検を行います。デッキは、作ってからかなりの年数が経過してきていますので、主に構造的に問題がないか点検をしていきます。その際に本日ご意見いただきました雨漏りがないかということも含めて注意しながら点検いたします。

原町田六丁目六生会

（3）の無電柱化の件でお聞きします。中央通りの無電柱化というのは、実証実験を行うと聞いております。文学館通りで行うことは今回初めて聞きま

した。まず一点お聞きしたいのは、この無電柱化を行うにあたって、なぜ原町田中央通り、文学館通りが選ばれたのかということです。例えば、この無電柱化というのは人通りの多い中心市街地、商店街の中、人が多く来られる場所という前提が私はあると思います。原町田中央通りはまさしくそのとおりだと思うのですが、文学館通りはいささかそれとは離れた感じが私はすると思っています。例えば、原町田の大通り3・4・11の通りの向かい、小田急線側の第一踏切あたりの通りの方がはるかに、無電柱化にする効果があるのではないかと私は思います。2010年に選ばれたということですが、なぜそこを選ばれたのか。それからもう一点は、この先、原町田六丁目のカリヨン広場の前の通りや、商店街の一番街、二番街、ターミナルロードもあります。そこに無電柱化する計画はあるのか、それともないのかという二点をお聞きしたいと思います。

道路部長

文学館通りが選ばれた経緯は当時のことは定かではありませんが、今現在、文学館通りを含めまして町田駅周辺の歩行者の回遊性ということで考えたときに、多くの人に、町田駅から東側の方面に向かって歩いていただき、町田の魅力を探っていただくには、車が多く入ってきて、歩行者の歩道が狭いこの通りは無電柱化をしていくべき箇所であると思っています。今言われました他の商店街の通りにつきましては、今現在、無電柱化の対象路線としては計画に上がっていない状況です。今後、どこを無電柱化するのかを検討してまいります。

原町田四丁目第一町内会

今の話の続きで、話の中でターミナルロードと出てきましたが、2010年にこの計画を作ったときにその場でも話をしましたが、ターミナルロードのほとんどは無電柱化しています。ただ、最後の出口のところ文学館通りとぶつかるところで、3本くらい電柱が残っています。その時には技術的なものもあって2010年当時では難しいという話だったのですが、あっという間に10年過ぎてしまいましたので、3本をどうにかしていただくと道がきれいになります。その辺のご検討いただけるとありがたいです。

道路部長

その電柱3本のお話が私も把握していないので申し訳ありませんが、確認をして今後計画の中に組み込めるかまた検討いたします。

原町田四丁目第一町内会

ちょうどヤマト横丁からちょっと出たところに3本残っています。商店街の

出たところで、古着屋さんがあります。2010年にお話ししています。やったのは30年以上昔ですから。無電柱化していなかったのが、今回無電柱化できるのではという話をしたら、2010年当時は難しいという話でした。

道路部長

今回の計画は、文学館通りの町田街道から中央通りまでです。それより下のバス通りまでは既にできているので無電柱化をする必要がありません。なぜ3本残したのかということは何か原因があるのかなと思います。

原町田四丁目第一町内会

四丁目の通りでは電柱が蔓延してなかったのが、電柱をとる場所もなかったという話を聞きました。2010年当時は難しかったと思いますが、今電柱を取るのであれば一緒に取っていただきたいです。

道路部長

今、いただきましたご意見につきましては、改めての課題として今後検討いたします。

原町田三丁目町内会

文学館通りを一方通行にするということは、非常に良いことだと思います。ただ、回遊性を考えることから、高ヶ坂の方、文学館の方から坂を登ってきて、一方通行にしたり無電柱化したりするという説明ですが、そうすると車の行ったり来たりが、下から上がってきて一方通行のところに入った時にどうするのですか。下から来た人たちは右に曲がって左に曲がって、今度逆に原町田の駅の方に行くということになりますよね。今は両方通行になっていますから、そのまま真っすぐ町田街道を突っ切って、線路手前の広い通りに出て右折して駅の方に行くことはできますが、逆に今度駅の方から来たときにその道は左折することはできなくなります。そうすると、文学館通り、元伊藤病院があったあの坂へ行きたいとなると、回っていかないと下の方には下りていくことができません。今日の議題の中の一つに入っていると思いますが、地区連からその延長のところに丸く黒くなっている部分に信号を着けていただけませんかという要望が出ています。文学館通りをいじるということであるならば、町田街道を突き抜けて下の方まで、もう少し考えていただいて、使いやすい道路ということにしていいただければよろしいかなと思います。その辺は検討したことはありますか。

道路部長

文学館通りの一方通行は、やはり歩行者の回遊性ということをメインに考え

ております。車につきましては町田街道から入ってくるだけの一方通行ということで、車で町田街道の北側へ行かれる際には市立中央図書館を回っていただくか、逆に、原町田大通りを大きく回っていただくかということになります。町田街道の北側の中はほぼ住宅地なので、ここを文学館通りと同等に賑わいをもたらす所とは考えていない状況です。

原町田三丁目町内会

町田街道で止まったら何の回遊性も出ないと思います。町田街道では何もないですよ。下におりていくと版画美術館があるし、それを左に曲がれば、芹ヶ谷公園があります。そうすると、本当に回遊性を考えるということであれば、芹ヶ谷公園について今一生懸命いろんなことを考えて開発しようとしています。その通りもしっかりと考えていかないと本当の回遊性にはならないと私は思います。

道路部長

今、車の時代から歩行者優先の時代へと世の中が少しずつ変わってきていると思っています。今回の一方通行ということも含めて、歩行者空間を広げるとというのが文学館通りの話です。

国際版画美術館の方には、歩行者の方は今までどおり行けるわけですので、是非歩きながら、町田のこの中心市街地を楽しんでいただきたいということが我々の考えです。車で通り過ぎるのではなくて、皆さんが歩いてお店を見ながら、地域を見ながら進んでいただきたいと思っていますところ。車を完全に排除することはできませんので、お車にお乗りの方にはちょっと遠回りになってしまいますが、ご協力いただきたいという思いで進めておりますので、是非ご理解をいただければと思います。

原町田三丁目町内会

車のことだけを考えればそれでいいと思います。でも回遊性ということになると、そっちの通りも少し歩けるように、今車が交差するのに、歩行者が家にへばりついていかないと危なくて歩けないという状況もあります。ですから歩行者の歩道を広げるとするのは非常にいいと思います。一方通行でもいいです。だけど、公園の方に行くとなると、町田街道を越えると、非常に危ない通りに今なっています。だから、どうせそこまでやるのであれば、先の方まで考えていただければ、本当に車ではなく原町田地域を大きく回遊できるような道路になっていくと思います。その辺もしっかり考えていただければ嬉しいです。

道路部長

おっしゃられたことは承知いたしました。今危険だと思われる要因として、通過車両が多いということがあると思います。その車を、現在事業を進めている都市計画道路町田3・4・11号線ですとか、その他の大きな通りにスムーズ通れるようにしていくことも一つの解決策だと思っております。そうすることによって、住宅街に入り込んでくる車をなくしていきます。地域の方が車で出入りすることは可能ですが、歩く方が安全に通れる道が住宅地の中では求められますので、そのために何ができるかを考えていきます。車の速度を落とすためにどういうことができるかですとか、そもそも車を入れないようにするのも一つの方法かもしれません。今の状況で歩道空間を確保するための道路拡幅は難しい状況です。安全な道にするということを基本に置いて考えておりますので、改めて何ができるのかを皆さんと協議していきたいと思っております。

原町田四丁目第二町会

文学館通りを考える会が、私どもの町会の中で活動しています。歩道を広げるということで2012年からというお話でしたが、その前から地元ですと活動していて、文学館通り1.2mしかない歩道を何とか広げたいと、行政の方等お願いをしています。地域の住民とも話し合いをしながら進めていきました。今のお話で、そこから先の話というのは、伊藤病院の坂を地理的にどうにかするというのは物理的に難しいだろうから、そのためにそれ以外の方法で、回遊性というかたちで芹ヶ谷公園へうまく回っていただきながら町田の魅力を感じてほしいということで、町づくりの会は「ゆったりと歩けるまちづくり、花のまち」ということで、町田街道の両側の歩道のところの花の育成から、町づくりの会員もずっとやっております。

一方通行については、ずっと文学館通りのお話をしている、町田市で24時間の道路の交通量の関係で、こういうかたちの一方通行がいいだろうという提案が出たので、全体のことを考えればそういうふうなことになるだろうということで了解をしています。なるべく町田街道がメインルートですから、車とか何かはそちらに集まっていただいて、住宅地の中へ車を入れないよう誘導していただけるようお願いしたいと思っております。文学館通り、もう10年以上いろいろ地域でも行政と関わりを持ってきて、やっとかたちになろうとしています。もうすぐだろうと思いますが、まだ最後のいろいろな困難があると思いますが、是非とも歩道を広げていただいて完成にこぎつけていただければということで、よろしく願いいたします。

2 原町田地区の道路整備について

(1) 市立中央図書館近くの「市立中央図書館前」交差点の信号機について、原町田橋から北に向かい駅に左折しようとした時、歩行者が多くなかなか左折できません。直進車と左折車のレーンが同じこともあり、原町田橋の交差点から長い列になっています。市立図書館北側の信号機は歩車分離型となっており、市立中央図書館前の信号機も歩車分離型に改善できないでしょうか。

(2) 町田せりがやクリニック（旧伊藤病院）上の交差点ですが、信号機が設置されていません。この場所は通り抜けの道として交通量が多く、また、通学路となっていて、児童が通る場所でもあります。事故が発生する危険があるため、信号機を設置するといった対応をしていただけないでしょうか。

【回答】

道路部長

2 原町田地区の道路についてお答えいたします。

(1) 「市立中央図書館前」交差点の信号機の歩車分離型への改善についてですが、信号機などの交通規制の所管は警察になります。町田警察に確認したところ、「2020年12月に信号機の調整を実施した。その調整の際に、警視庁交通管制課と歩車分離型についても検討したが、変更は難しいとの結論であった。」とのことでした。変更が難しい理由は、「歩車分離型にすることで、車両の信号待ちが長くなり渋滞が増加し、事故等に繋がる可能性が高いため難しい。」とのことでした。

(2) 町田せりがやクリニック（旧伊藤病院）上の信号機設置についてですが、町田警察に確認したところ、「近接の信号機からの距離が近いこと、急カーブ後の頂上付近であることから、信号の設置基準を満たさないため、設置は難しい」とのことでした。

町田市では、交差点内のグリーン舗装の再舗装などを行うことで、車両への注意喚起をして参りたいと考えております。また、併せて、交通規制の表示である横断歩道、停止線やダイヤモンド等の再塗装などを町田警察に要望して参ります。

《質疑》

原町田四丁目第二町会

旧伊藤病院の上の交差点の件ですが、あの前の道路はここに書いてあるように町田街道の通り抜けの道になっていて非常に交通量が多いのですが、標識がいろいろ確かにあります。あそこで一番問題になっているのは、下から来る車が、坂道上がりますので、なかなかストップしないで勢いのままいきたいとい

うのがあるのが一つと、もっと危ないのは町田街道から伊藤病院に抜ける道ではなく、十字になっているところが一旦停止して右左見ても車が来ているかわかりません。つい先日事故があったのは、私が子どもの見守りをやっている時じゃなくて、これから行こうかなと思ってみたら、車が停まっているので変だなと思いました。話聞いてみたらオートバイと自動車ですけど、歩道を人が歩いていたので自動車はちゃんと停止線で止まって見ていた。その後歩行者がいなくなったからいいかなと思って出たら、下から病院の方から上がってきたオートバイと接触したということでした。ゆっくり行っても非常に見にくいところで、危険な場所です。9月の半ば頃にもお年寄りが車と接触しています。ここは何が一番いいかはともかく、非常に危ないところだということは事実なので、何か方法がないか検討していただきたいなと思います。

道路部長

おっしゃるとおりだと思います。町田街道に平行して通っていける道、町田第二中学校方面から町田第二小学校横の坂を上ってくる車が左折してこの道に入り、交差点を通過して三塚方面へ出ていくなど、いろいろな抜け道になっているのは市でも認識しています。車を減速させるためにハンプという、舗装を盛り上げる方法もありますが、車が通る度に騒音、振動がひどいと近隣の方から苦情やお叱りの言葉をいただくこともあります。また、交差点を舗装する際に塗装することもあります。現在使われている色をもっと目立つように色を変えることはなかなか難しいです。あとはイメージ・ハンプという、トリックアートのような突起物が飛び出て見えるようなものも設置していますが、あれも一過性になってしまいます。慣れてしまうと普通に通過してしまいます。それぞれにメリットデメリットがあり、これという解決策がなかなか見つからないのですが、何ができるのかを考えながら進めてまいります。また、町内会の方にもご相談させていただきますので、是非ご協力のほどよろしくお願いいたします。

3 原町田大通りの延伸計画について

芹ヶ谷公園玄関口へのシンボルロードとして、原町田大通り（町田3・4・11）の延伸計画がありますが、完成時、車道や歩道、中央分離帯、横断歩道、接続する道路や既存の道路等はどのようになるのでしょうか。また、現在の進捗状況と今後の予定を教えてください。

【回答】

道路部長

原町田大通り（都市計画道路3・4・11号線）の延伸計画についてお答

えいたします。

まず、計画の概要についてですが、区間は、町田街道から芹ヶ谷公園北東の町田市道南542号線（将来都市計画道路3・3・36号線）までの約520mで、その内、芹ヶ谷公園横断部の約140mは橋梁とする計画です。

道路の総幅員は、原町田大通りを受け、芹ヶ谷公園玄関口へのシンボルロードとなる、町田街道側が最大41mで、橋梁区間の幅員25mに擦り付けていきます。橋梁区間の先は、暫定整備区間となり、既存の道路に擦り付けるため中央分離帯を徐々に無くし南542号線側では21m程度となります。

車道には中央分離帯があり、標準的な幅員は車道幅4.8mの2車線に中央分離帯4.2mを加え13.8mとなります。また、車道と歩道の間には幅2.8mの自転車道路を両側に設けます。

歩道につきましては、両側有効幅員2m以上を確保しており、特に町田駅から芹ヶ谷に向かって右側、町田街道から町田第二小学校までの区間が広く、最大で11mです。ゆとりある歩行空間を確保し、芹ヶ谷公園への入り口となる南543号線自転車歩行者専用区間へとつながります。町田第二小学校へつながる道路であるため、歩車を分離し児童の安全確保に努めてまいります。

横断歩道につきましては、町田街道交差点部、町田第二小学校付近、南542号線交差点部の3か所設けます。その内、町田第二小学校付近の横断歩道は、中央分離帯で歩行者動線をずらす安全性の高い二段階横断施設といたします。

本路線は中央分離帯で仕切られた車道となるため、接続する既存の道路や宅地の出入りにつきましては、本路線に入る場合も、出る場合も、全て左折となります。

そのため、反対車線に入ることができる様に、中央分離帯を抜ける転回場所を、町田街道から橋梁区間までに1か所、橋梁区間から市道南542号線までの間に2か所、設ける計画でございます。

また、町田第二小学校前の現在の道路である、南543号線につきましては、芹ヶ谷公園と重なる区間を自転車歩行者専用道路とする計画でございます。

現在の進捗状況でございますが、昨年度（2020年度）に警視庁との計画協議が完了し、用地測量に着手しました。今年度（2021年度）も引き続き用地測量を実施しますのでご協力のほどよろしくお願いいたします。

また、今年度（2021年度）の5月（21日・23日）に、事業説明会を3回開催し、現在は、道路区域への編入について、東京都との協議を進めており、今年度中の道路区域編入完了をめざしております。

今後といたしましては、来年度（2022年度）に用地説明会を開催し、

その後、用地取得を開始し、整備完了は、2026年度を目指しております。

《質疑》

原町田五丁目町内会

先日、ここの計画の説明会に参加しましたが、今、図面でご説明されたのは決定事項ですか。というのは、今お聞きした時に、もうこれで決定ですみたいなお話に受け取れました。私は地元に住んでいますが、それらしいことはまだ聞いていません。今、対象になっている、住んでいる人もこれについての反論も、意見も言えませんが、現状ではどうなっているのでしょうか。また、これはもう最初の道路をひかれた時に、70年くらい前に道路計画がありますという話をお聞きしたのですが、それからずっと工程も変わってきて、今の時点で初めてこういう図面が出てきました。その過程でどう変わっていったか、という質問をされても役所の方からは何も答えていただけていません。その辺はいかがでしょう。

道路部長

説明会で質問にお答えできていないのは誠に申し訳ありません。現在の状況といたしましては、先ほどお話ししましたように、警視庁との交通協議、計画協議が整ったという段階ですので、全てが決まったということではございません。まだ修正の余地はあると認識しているところでございます。これからも5月に事業説明会を開催して、その後ご質問等いただければ、随時お答えをしていると思っておりますが、今、答えてないというご意見でしたので、そこは大変失礼いたしました。それにつきましては後日ご回答いたします。

都市計画決定から現在までの経緯、いつどの路線をどのような順番で行っていくのかということですが、この3・4・11号線につきましても接続する3・3・36号線の事業が大分進んできたということも含めまして、町田街道の整備、それから芹ヶ谷公園の整備など、本路線の周辺の整備が見えてきたことから、今回の事業を進めていくことといたしました。この路線だけ単独に進めようということではなくて、周辺の社会状況も含めまして、機が熟してきたこのタイミングで、町田市として事業を実施すると決断し、進めているということでございます。

原町田六丁目六生会

一点お聞きしたいのですが、モノレールが来る予定があり、モノレールも同じような道路を通ると思います。原町田の自転車・歩行者専用道路の上に通ると思うのですが、何mくらい上にできるのでしょうか。モノレールはその上を通るということになりますよね。今のところ構造的なことは決まってないと

ということですか。その新しい道路の上に橋桁みたいのができてモノレールが走るという考え方でよろしいでしょうか。

都市づくり部長

まだモノレールの位置は決まってはいませんが、想定でお答えいたしますと、モノレールが道路の上を通る時は、中央分離帯のところに橋脚を建てまして、その上にモノレールのレールを敷くこととなります。高さも、まだ決まっていませんが、通常道路の建築限界は4.5mです。そのぎりぎりで作るわけではなく、一般的には、何も無いところだと道路から10mくらい上のところをモノレールが通っていきます。芹ヶ谷公園付近は、谷になっているので、高さについては今後、経済性を検討しながら、作ると推測できますが、モノレールは道路の上を通るという考えです。

原町田六丁目六生会

そうすると谷からの高さは相当な高さになりますよね。

道路部長

今、芹ヶ谷公園と町田第二小学校との高低差が20mくらいあると思います。公園を跨ぐ橋が地上から多分20m、30mくらいのところにできます。モノレールは、そこからまた上、道路の建築限界ですとかを考えるとプラス約10m、地上から30m、40mくらい上のところに線路ができ、プラスモノレールの車両が乗りますので、目線の高さとしては、地上50m程度から町田が眺められるということになるかなと思います。

第2部 市政全般に関する意見交換

市長からの市政報告

モノレールは、信号で左折できないのですよね。アールとって、逆アールとか、半径100くらいの曲線でいかなければいけないので、上を曲がってきます。真っすぐできないから曲がっていくかたちになって、その辺にも柱が立つようになります。二中の校舎の3階くらいの高さで小田急の上を越えていくと思います。かなり位置的には高いと思います。

皆様に今日は「2021年度 市政懇談会 市政報告概要」という資料をお配りしました。

コロナ対策を去年、今年はかなりやりました。中小企業、お店を経営している方はかなり厳しい状況に去年からなっています。2割、3割ではなく、50%売り上げが減っています。そういうこともありまして、家賃の補助をしました。その他10項目ほど市が行ったことを紙に記載しています。一番大きなことは、

特別定額給付金、昨年4月、5月に行いました、1人10万円の給付金です。町田市内約432億円の金額でした。

お子さんがいる世帯に対する給付金もやりました。その後に記載している中小企業者家賃補助事業は4回行いました。去年の春の段階で、利子補助と合わせて約10億6千万円。夏の段階で約5億2千万円。今年に入って約4億円。更に約3億円と4回補助事業をしています。2回目、3回目になると手続きしてからかなり早く振り込みができるようになりました。東京都や国の制度はかなり手続きが大変そうなので、町田市の手続きはかなり簡略、省略化しました。

それから、4つの病院に合計2億円の給付をしています。コロナを対応している病院は外来の患者があまり来られなかったのでかなり赤字だったそうです。

地域外来のPCR検査センターを都内で8番目、多摩地域26市の中では1番目に、昨年4月オープンしました。

キャッシュレス決済については、Pay Payと連携してプレミアムポイント事業を行いました。23億円分のプレミアムポイントを市が負担して行いました。

飲食店のデリバリー支援は、出前館に頼んだ時の配達料とお店側の出前料をそれぞれ市が負担しました。また、デリバリー・テイクアウトを実施する飲食店への給付金事業を行い、合わせて約2億円でした。

現在、ワクチン接種事業は、12歳以上の全人口比約68%。高齢者が約90%の方が2回目の接種が終わっています。今月末には全人口の約8割の人が終えると思います。

〇ごと大作戦は、12月で終了します。市制60周年、ラグビーワールドカップ、オリンピックと3年の事業でしたが、オリンピックが延期になったので1年延びました。約300の事業のエントリーをいただきました。参加した人数は、Web上を含めて200万人です。目標は100万人でしたが、実際は200万人となりました。

先ほどお話がありました、多摩都市モノレール整備は、新しい駅を作りますので、その駅の周りの整備基金として7億5千万円です。

オリンピック・パラリンピックについては、事前キャンプがほとんど中止になってしまいましたが、パラリンピックでインドネシアのバドミントン代表チームの事前キャンプを行いました。参加した選手のほとんどがメダルを獲得し、成績が良かったです。

薬師池公園は西園にウェルカムゲートができています。非常に評判が良く、多くのお客さんが来ています。

野津田公園GIONスタジアムは、5月に観客席を10,000席から15,000席に増設工事をしました。

鶴川駅南北の開発は、南側の区画整理事業がスタートしました。北口は駅前

広場の工事を始めました。

グランベリーパークは一昨年の11月にスタートして、子どもクラブつみきがオープンしました。

熱回収施設は、来年の1月に稼働予定で、現在試験燃焼を行っています。11月から全てのごみは新しい工場に運ばれます。新しい工場では、燃やせるごみの中から、紙や生ごみ等を選別してドラムの中に入れてメタンガスを発生させ、ガスのエンジンで発電することができます。これがそろそろ稼働します。首都圏で初めての施設なので、視察が多く来ると思います。

子育ての関連では、保育所待機児童数は去年が130人で、今年は76人まで減りました。以前は多いときで400人いました。ほとんどが南地区です。

町田第一中学校は8月の末、二学期から新校舎で授業を行っています。今校庭の整備をしています。体育の授業は本町田の後田で行っています。3月までには終わると思います。

小・中学校体育館の空調が、今年度全62校で整備完了します。輻射方式といい、輻射板を冷やしたり、暖めたりすることで冷暖房を行います。3月までに全校終わる予定です。

中学校の全員給食は、現在教育委員会で基本計画を作っており、南は成瀬の下水処理場の隣に作ります。鶴川方面は金井グラウンド、それと山崎団地の中の廃校、忠生第六小の市内3か所に給食センターを作る計画になっています。全部いっぺんに行う予定です。

小・中学校再編計画が今年できました。今説明会を行っています。2040年までの計画です。

最後に、特別養護老人ホームの入所申し込みから1年未満に入所できた人の割合が、2009年度約45%だったものが今は85から90%の人が申し込みから1年で入所できるという時代になりました。

《質疑》

原町田六丁目六生会

自治会の運営体制のことですが、先般、前会長から連絡いただきまして、「うちにある衣装ケース10箱ほど引き取ってほしい」ということでした。代々、会長がお祭り等で使った半纏等はクリーニングから返ってきたらカビがはえるので、1年近く保管をしているということでした。初耳でした。会長ないし一定の人がそういう負担を強いられないと運営できない自治会はいかなものかと思いました。六生会の会館がそもそもないので、町田第一地区長会でご相談し、各町会の会館の取得方法とか、事例とか、また運営、維持管理などお話を伺いました。大なり小なり各町会事情が違いますが、行政の支援ないし補助をいただきながら、会館を持って、中には日々の不動産の税金等、行政に負担していただいているということも伺いました。そうであ

れば、六生会区域内に場所がなく、今までも会館が必要ないということで作ってなかったと思いますが、きちんと保管できる物置場を設置していただきたいです。防災倉庫もありますが満杯です。例えば、今、地震が多いので、防災用品の備蓄とか、そういうことを条件に、是非前向きに検討していただければと思っております。

市民協働推進課担当部長

詳しい話はまた個別で、六生会さん区域の中でまず土地があるかどうか、会長と地区会長と一緒に、どういった方法があるのかをお話していければと思います。

原町田六丁目町内会六生会

確か20年前ですか、公民館が今のところに移動するときに、六生会が使える場所を用意するという話もあったというような話も伺っております。是非とも前向きに検討していただければと思います。

原町田六丁目町内会六生会

一点、コロナウイルスの感染症の対策について、今後のことについてお聞きします。いろんな業者がございしますが、やはり一番厳しいのは飲食店で、厳しい状況がこの2年間続いております。そういった中で、飲食店のデリバリーは非常に良いかと思えます。ただ、ここで10月1日に、緊急事態宣言が明けまして、やっとこの数日お客様が多く来店されているのを見ます。そういった中で、今後コロナウイルスの感染症の対策として、飲食店に対する支援というのはお考えでしょうか。例えば、GoToEatのような支援で2年間の減収分を取り返すという考え方、施策はありますでしょうか。

市長

GoToEatや、GoToTravelというのは、お金がかなりないといけないということで、特に今お話のGoToEatはここに今書いたようなお金ではとてもできるような話ではありません。先ほど申しました家賃補助みたいなことはできますが、GoToEatになるとなかなか難しいと思います。東京都では飲食店の事業ができる可能性はあります。確認はしてみますが、今までも減収額など数字がないと補助を受けられなかったのが、今収入が上がって回復してしまうと、お店の売り上げが回復している状況ではなかなか実施するのは難しいと思います。都にも聞いてみたいとは思っています。

○閉会の挨拶

町田第一地区 原町田三丁目町内会 会長